

## 第6回 令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会 会議録（要旨）

開催日時	令和7年2月21日（金） 9時55分～10時49分
開催場所	全員協議会室
出席委員	中川 達 委員長、中村 聡 副委員長 福島誠一、土屋克之、西尾雄次、磯貝幸博、川口正己、恩道正博、北川悦子、夷藤 満、清水文雄、南 守雄
欠席委員	（なし）
オブザーバー	七田満男 議長
傍聴者	（報道機関）
説明員	生田 町長、桐山 教育長、松井 総務部長、北野 総務部担当部長、助田 町民福祉部長、中川 町民福祉担当部長、上前 都市整備部長、宮本 都市整備部担当部長、重島 消防長、上出 教育部長、山田 総務課長、北 財政課長 奥田 企画課長 法利 企画課担当課長 渡辺 都市建設課長
事務局・書記	堀川 議会事務局長、川端 事務局次長兼参事、中村 書記

### 議 件

#### （1）内灘町災害復興計画（まちづくり計画）等について

##### 【委員】

北部地区では、地区計画の推進ではなく、市街化調整区域の規制を外す事が必要なのではないか。

##### 【説明員】

昨年に県に要望したとおり、まずは、市街化調整区域の規制を外すことを目指す。地区制度の利用は、最終手段と考えている。

##### 【委員】

アンケートの中で、住宅の再建を決めかねている人も多い。さらに細かいアンケート調査が必要なのではないか。

##### 【説明員】

液状化対策の実証実験の結果等を早期に示し、住宅再建の判断をしてもらいたい。さらなるアンケートの実施を検討したい。

**【委員】**

被災した宅地の買上げ、代替地の提供などを検討できないか。

**【説明員】**

固定資産ににかかる支援について、国・県に確認し、制度設計可能かどうか検討したい。

**【委員】**

建物の復旧・修繕をしようとしている被災者に、町が待ったをかけたという事実はあるのか。

**【説明員】**

町として、止めたという事例はない。捉えた方としてそのように受け取ったかどうかは把握していない。

**【委員】**

側方流動に伴う境界が大きくずれたが、境界を確定をしないと復興事業は進まない。

**【説明員】**

国からの専門家の助言を受け、地籍調査の実施を主に考えているが、大きなずれを生じた個所については別の手法が必要と考える。次回委員会で方針を示したい。

(2) その他

**【委員】**

県道松任宇ノ気線の測量の進捗状況について

**【説明員】**

北部地区で実施中。今年度末をめどに事業完了の予定。  
南部地区でも作業に入っている。

(以上)